## エグゼクティブ・サマリー GFSIカンファレンス 2023



## 内容

はじめに:変革のカ		3
数字で見る		5
1日目 知識が食の安全を支える		6
分科会		9
	能力構築	10
	官民連携	11
	ベンチマーキング・調和	12
オートメーションは人材派遣とサプラ イチェーンのねじれを <b>解消できる</b>		13
法と秩	序:食中毒を防止する	15

2日目 米国農務	8省の食品安全ビジョン	17
GFSIとCodexが 国連の持続可能な開発目標の達成を助ける		19
分科会		21
	能力開発	21
	官民連携	22
	ベンチマーキング・調和	23
基本を正しく行う: アフリカの食品安全		24
停電のカオス アフリカにおける食品安全の課題		25
アフリカにおける能力構築:GFSIと USAIDが協力		

3日目 変革の旅	28	
分科会		31
	能力開発	31
	官民連携	32
	ベンチマーキング・調和	33
フードシ		
		34
閉会の抽 食品安全	36	
パート	37	
ソーシ	39	
フォトギ・	40	

# はじめに 変革の力

今、世界の食の安全に責任を負う私たちは、かつてないほどの変化に晒されています。サプライチェーンの混乱、気候変動によるショック、そして食品安全に関わる労働力の減少に直面しており、私たちは同胞を守るためにさらに効果的に取り組まなければいけません。食品安全コミュニティにとって、こうした21世紀の課題に取り組むためには、迅速な行動と新たなアプローチが必要です。

23回目を迎えたGFSIカンファレンス2023には、50カ国から700人以上の食品安全の専門家が参加しました。2023年4月24日~27日にアトランタで開催され、テーマは"激動の時代に安全な食品を提供する:機敏性と回復力の必要性"でした。参加者の目的は、すべての人に安全な食品を提供しようと努力する人々の間で共通する問題を探し出し、共有し、答えを得ることでした。参加者は、産業界、規制当局、政府間組織、学界からの一流の専門家からなるぎっしりと詰まった講演者のラインアップから話を聞くことができました。



GFSIは今年、ニューサウスウェールズ大学の食品安全「ロックスター」ジュリアン・コックス博士による講演において、科学に基づいた意思決定に焦点を当て、より技術的な内容へのコミットメントを強化しました。また、19の分科会では、能力開発、ベンチマーキング・調和、官民連携に関するテーマが取り上げられました。2023年のプログラムでは、昨年の5倍のセッション数を提供しました。

その中でも今年は、官民連携と能力開発が注目を集めました。GFSIとUSAID(アメリカ合衆国国際開発庁)が発表した新たな枠組みは、アフリカやその他の新興市場における小規模食品事業者を支援し、飢餓、貧困、疾病の削減における重要な役割を担えるようにするものです。

覚書で交わされたパートナーシップの中で、USAIDはGFSIと協力し、サプライチェーンや新進の食品ビジネス(多くの場合、女性が経営する企業)を変革するのに役立つ能力を構築します。今回のカンファレンスで発表された新しいグローバル・マーケット・プログラムによる能力構築の取り組みは、グローバル・サプライ・チェーンに沿ったこの活動を強化するものです。

ベンチマーキング・調和のセッションでは、技術的同等性とともに、"Race to the Top(RTTT)" Feature 2(CPOとの連携強化)の最新情報が提供されました。参加者は、GFSI科学技術諮問グループから、食品安全研究のホットな話題についても学びました。

示唆に富む基調講演、パネル、TechTalks、そしてスポンサーの特別セッションの後、GFSIコミュニティのメンバー達は充電され、「すべて人に安全な食品を提供する」というGFSIの目的と使命を果たす決意を固めて帰国しました。その結果は、2024年4月8~11日にシンガポールで開催される次回のGFSI会議に引き継がれていきます。

エリカ・シェワード GFSIディレクター



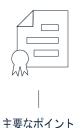




## 数字で見るGFSI







企業にとっての食品安全の成果は、収益にとど まらない。

GFSIとCGF: 計画モードが完了し、 焦点は今後の実行に 移る。 指導者たちは、サプライチェーンの苦境、物価の高騰、労働力とエネルギーの不足、気候変動、といった食品安全の脅威に適応しなければならない、



#### 1日目

## 知識が食 の安全を支 える

「私たちには知識があり、すべての人のために安全な食品を作る力があります。 私たちの前進を妨げるような行動にまだ気持ちが傾いている皆さんには、 本当に食品安全の利益を念頭に置いているのかどうか、再考をお願いします。」

パンデミック、急激なインフレ、ウクライナ戦争に起因するサプライチェーンの打撃に揺れる世界について、GFSIディレクター エリカ・シェワードは鮮明な絵を描きました。彼女はまた、航空食品安全史上最大の悲劇である「ノベンバー・オスカー」事件についての実体験を説明しました。ウィリアム・グレン・スチュワート機長は、飛行中に突然食中毒に見舞われた乗組員が行動不能に陥った後、霧の中で旅客機を単独着陸させた際の過失により、重大な操縦過失で有罪判決を受けました。翼を剥がされたスチュワート機長はどん底に落ち、後に自殺しました。このフライトにはエリカ・シェワードも搭乗していました。

彼女の体験談は、食品安全の問題が重大な結果を招きかねないという厳 しい警告を与えています。地上と空中を行き交う何百万人もの人々が、安 全でない食品によって予期せず不必要に命を削られるという脅威から救わ れなければなりません。



コンシューマー・グッズ・フォーラムのマネージング・ディレクターであるワイーチャン・チャン氏は、GFSIとその母体であるCGFの使命と優先事項について改めて説明を行い、将来への希望を与えました。CGFとその行動連合は、文明を発展させることを目的としたプログラムを推進し続けています。これらの連合には、GFSIに加えて、より健康な生活のためのコラボレーション(CHL)、食品廃棄、フォレスト・ポジティブ、人権、製品データ、プラスチック廃棄、持続可能なサプライチェーン・イニシアティブ(SSCI)が含まれます。これらの連合は、これらの分野におけるCGFの活動を促進し、現在では、計画から行動のステージへと移行してきています。



GFSIのCGF理事会共同スポンサーであるモンデリーズのCEO兼会長ディルク・ヴァン・デ・プット氏は、行動連合を全面的に支持し、GFSIコミュニティは激動の時代に安全な食品を提供するために機敏で弾力的であり続けなければならないという会議のテーマに共鳴しました。彼はこう締めくくりました:「このような高速で複雑な環境に直面すると、従来の作戦はもはや通用しません。」

## 分科会

2023年GFSIカンファレンスでは、同時開催の分科会によって、3日間のプログラムでの学びの量が例年に比べて増大しました。参加者は、GFSIの優先事項に関する3つの分科会(ベンチマーキング・調和、能力構築、官民連携)からセッションを選択できました。 3つの分科会にまたがるテーマをカバーする19のセッションが開催されました。全体として、2023年のプログラムは、前回のカンファレンスの約5倍のセッション数を提供しました。









# 左から右へ:ユニリーバのトレイシー・バートンとペプシコのクリオナ・マーフィー。



## 能力構築

ステアリングコミッティと話そう: GFSIは、すべての人のために食品安全能力構築を支援する新しいアプローチをどのように作ろうとしていますか?

世界中のすべての人に安全な食品を提供するということ は、どんなに小規模であってもサプライヤーを置き去りにし ないということです。しかし、プログラムに対する認識不足、 ユーザーにとってのコストの課題、データの移行性、食品 事業者(FBO)にとって的外れな自己評価ツールなど、多く の課題が邪魔をしています。そこでGFSIステアリングコミッ ティのメンバー5人が登壇し、インパクトのある能力構築に 向けてさらに前進するために、企業から学んだことを取り入 れたと語りました。このインプットは、中小企業のニーズと、 Codexのような規制情報が織り込まれることを望む中小企 業の要望を考慮した能力構築アプローチ案に反映されまし た。また、大手バイヤーに検証の要素を与えることも視野 に入れています。これは野心的で複雑な枠組みであり、米 国の開発援助機関であるUSAIDの意見も反映されていま す。この新しいアプローチは、あらゆる規模の食品事業者 がGFSIに承認された認証取得に向けて取り組む際に役立 ちます。この作業により、GFSI認証を受けていない食品事 業者の食品安全マネジメントシステムの改善が可能にな り、GFSI承認プログラムによる認証や規制遵守に向けた取 り組みができるようになり、世界中の消費者により安全な食 品を提供することができるようになります。









## 官民連携

## ステアリングコミッティと話そう: GFSIはどのように規制当局との連携を可能にしていますか?

食品安全の達成は、GFSIコミュニティと規制当局の間で共有される責任であると、官民連携分科会をキックオフしたGFSIステアリングコミッティ(ステコミ)のメンバーは述べました。満席の会場に向かって、彼らは、対話と協力を通じて、食品安全規制当局との信頼関係を築き、彼らがリスクに基づく資源配分のためにGFSI承認規格を考慮に入れることができると説明しました。また、ステージ上のステコミメンバーは、ステークホルダー・エンゲージメント戦略の設定、政府および政府間機関とのパートナーシップの構築、官民連携に関するGFSIの戦略的成果を実現するためのガイダンスの提供など、彼らの仕事について紹介しました。GFSIのG2B(Government to Business)プログラムとローカルグループは、大きな役割を果たしています、

コーデックスとのGFSIの関わりも同様です。常に流動的な食品安全の世界において、対話と情報交換は、サプライチェーンと企業がこれまで以上に迅速に働き、適応することを助けます。規制当局との透明性確保には、事業者がGFSI承認規格を持っていることを確認するための、進行中の認証データプラットフォームの構築が含まれます。規制当局のニーズと課題を把握することは、世界中の食品安全の提供を容易にします。

#### 地域と話そう

GFSIの7つのローカル・グループは、知識を共有し、地理的な違いを超えて食品安全を管理・改善するための調和されたアプローチを促進する取り組みを支援しています。本セッションでは、日本および米国・カナダのGFSIローカル・グループの代表者が、ローカルグループの包括的なアジェンダ

と官民連携を支援するために各地域の政府と連携する活動について議論しました。日本のローカル・グループの活動では、政府省庁の代表者がテーブルに着いて食品事業者から情報を得ているなど、政府との協力が行われ更に発展する余地があります。日本でも他の国でも、官民連携の発展には時間がかかります。カナダでは、規制のアプローチはより市場主導型であり、規則や規制は成果に基づいています。政府は、NZとオーストラリアのローカル・グループによって報告された遠隔監査のような革新的な取り組みにオープンであるようです。ローカル・グループが持つ強力な業界経験は、政府にとって有益であり、コーデックスのプロセスにも反映されています。ローカルグループは、中国、メキシコ、南米、米国・カナダ、EMEA(欧州、中東、アフリカ)地域にも存在します。

## ベンチマーキング・調和

ステアリングコミッティと話そう:コンセプトから 実行まで - GFSIはどのようにガバナンスと調 和の針を動かしているか

GFSIステアリングコミッティ(ステコミ)のメンバーは、GFSI ベンチマーク要求事項バージョン2020の変更案について 議論しました。パネリストは、審査員トレーニングや継続 的な専門能力開発、コーデックスとの整合性などを含む 要求事項の進捗状況を振り返り、2024年の新バージョン ガバナンスの責任者だけではなく、ベンチマーキングと した。2021年にCGF内の行動連合としてGFSIが創設され て以来、GFSIは活動のあらゆる側面において近代化と 改善の旅を続けてきました。

科学技術諮問グループ(STAG): 科学とエビデンス がGFSI戦略とその実行にどのように影響するか

GFSIの科学技術諮問グループの経験豊富で先見性のあ る学者たちが、食品安全研究の世界で何が注目され、何 が注目されていないのかについて意見を交わしました。 GFSI戦略をサポートし、GFSIの意思決定に情報を提供し ている世界中の学者から選ばれたSTAGのメンバーは、 の開発に向けての展望を話しました。パネルには、GFSI GFSIをサポートするためにすでに行われた作業を詳述し、 今後何が必要かを概説しました。プレゼンテーションでは、 |調和の戦略実行をリードする委員会メンバーも含まれま ミクロなコミュニティの相互作用やリスク予測などの分野 が探求されました。彼らの仕事は、最新の食品安全研究 によって知らされた科学とエビデンスに基づいた意思決 定を行うGFSIの取り組みに、厳密さと独立性をもたらしま す。食品安全を向上させるためにGFSIが行うあらゆる作 業は、科学とエビデンスに基づいています。ベンチマーク 要求事項の変更、能力構築プログラムの強化、新たな食 品安全ハザードのための水平走査は、すべて科学とエビ デンスに基づくことが必要です。

#### GFSIに訊く:「Race to the Top」の最新情報、 GFSIの今後の展望

会議の参加者は、主要な優先事項を促進し、実 行するために舞台裏で働くGFSIリーダーと出会 い、交流するために、"Ask GFSI"セッションの 間、プレゼンテーション・シアターに集まりました。 パネリストは、第三者監査やグローバル・マーケ ット・プログラムの再開など、プレナリーや分科会 のステージで以前に議論されたトピックを掘り下 げました。



左から右へ:大久保力、GFSI、エスター・ディアス、ラライナ・ランドリア マナントソア、GFSI、イザベル・クマール、モデレーター、エリカ・シェワー ド、GFSI、アン・ジェラルディ。

## オートメーションは 人材配置とサプライチェーンのねじれを解消 できる

労働者不足と気候変動のは、小売、生産、加工の各レベルの食品安全にとって大きな課題となっています。リーダーたちは、高い従業員離職率とサプライチェーンの逼迫という2つの複雑な脅威に直面しています。3人のGFSIステコミメンバーが、人材とサプライヤーの問題を解決するために、最優先の懸念とセクター特有の対応を共有しました。

ゼネラル・ミルズのグローバル食品安全・品質担当バイス・プレジデント、マーク・A・フライリング氏は、新しいサプライヤーを素早く固定することは、サプライチェーンの苦境を和らげるのに役立つと語りました。フライリング氏は現在、自社の供給が制約されていることに気づいています。サプライチェーンの混乱に対処するために、GFSIが承認した認証プログラムは、食品安全レベルを維持しながら、新しいサプライヤーを迅速に取り込むことを支援する役割を果たしています。オムニチャネル・デリバリー・システムの台頭は、彼の会社に対して、潜在的な悪用に対してより強い製品を再設計するよう促しています。

主要なポイント

オートメーションは、食品製造業者や一次生産者が食品安全の労働力不足や要因配置のねじれを克服するのに役立つ。

多様な小売チャネルが存在する世界では、食品メーカーはその用途や潜在的な悪用、危機、気候変動に強い製品を設計しなければならない。

気候変動の脅威:リスク ベースのモデルが企業 の対応に役立つ。



ドール・フード・カンパニーの食品安全・品質担当副社長であるナタリー・ダイエンソンは、一次生産という観点から、気候変動が最大の脅威であると考えています。製造業ベースの食品生産とは異なり、ドールのような果実に特化した生産者は、製品の製造を大自然に依存しています。アメリカ南西部での水不足、カリフォルニア州サリナス・バレーでの洪水、南米でのブドウの不作は、気候変動による気象現象がビジネスの収益を悪化させることを示しています。

社内で構築されたリスクベースのモデルが脅威への取り組みを支援し、企業は食品の安全を守りながら、気候由来の事象に的確に対応できるようになります。労働力不足は農業文化セクターにとってもうひとつの大きな打撃となっています。自動化への重点的な投資は、この厄介な労働カトレンドに取り組むのに役立ちます。

クローガー社のコーポレート・フード・テクノロジーと規制コンプライアン ス担当 ハワード・ポポーラ副社長は、「気候変動は、小売分野に おける食品安全に明らかな脅威をもたらす」と指摘しました。 天候不順、農作物の不作ともに、気温の上昇による賞味期限の短縮は、小売店の棚を空っぽにします。クローガー社は新しいサプライヤーを見つけ、その食品安全システムを吟味します。GFSIはその過程で有用な役割を果たし、小売店舗における「ガラスの向こう側」の食品安全、つまり店舗内の調理食品部門により深く関与することができます。高レベルの食品安全リスクと驚異的に高い従業員の離職率は、店舗内調理の一部を委託厨房にシフトすることを意味します。









## 法と秩序 食中毒を防止する

「食品安全の世界では法と秩序が優先されなければならない」と、オーストラリア食品安全情報評議会の科学ディレクターであり、食品安全のロックスターとして名高いジュリアン・M・コックス博士は語りました。コックス氏は、生産者から消費者に至るまで、食中毒と「闘う」ことを強く呼びかけ、アクション満載の初日午前のプレナリーを締めくくりました。

コックス氏は世界保健機関 (WHO) のデータを引用し、毎年6億人が食中毒にかかり、42万人が死亡していることを明らかにしました。彼はこの問題にスポットを当て、こう言いました:「私たちがしなければならないのは、食中毒を刑務所に入れることです。この数字を見ることは、21世紀において犯罪的です。」

地球上から食中毒をなくそうとする試みは、困難な 脅威に直面しています。例えば、サ ル モ ネ ラ ・ エ ン テ リ テ ィ デ ィ ス は 鶏の生殖組織に感染 するサルモネラの一種であり、食品衛生の専門家を 悩ませます。疎水性の表面構造を持つサルモネラ菌 は、環境中で生き残りやすく、免疫システムを回避 し、体内の腸管外部位に定着するものもあります。 また、抗菌剤や抗生物質に対する耐性を進化させたも のもあります。感染者は4時間以内に死亡しています。 食品産業は、より病原性 が強く、より回避性の高 い食中毒病原体と闘うた めに進化しなければなら ない。

> 利得のために食品安全 の懸念を無視すること は殺人に等しく、告訴さ れるべきだ。

消費者教育:食中毒を予防 するために必要なパズルの ピース。

主要なポイント







このような食中毒菌を考えると、産業界と消費者の双方が歩調を合わせて進化していかなければなりません。全ゲノムシークエンシングとメタゲノミクスは、食品媒介性疾患に対する有用なツールであることが証明されるとともに、これらの技術は近い将来、携帯機器で利用できるようになるかもしれません。

この脅威と闘うためには、消費者教育が大きな役割を果たします。コックス氏は、"食品安全教育のためのパートナーシップ"のようなグループが、個人と食品の衛生に対する意識を広めていることを称賛しました。「食品安全とは人間の安全である」と彼は1973年の映画『ソイレント・グリーン』を引き合いに出しました。

「私たちは食品安全の牢獄から抜け出すことができる。」と 彼は締め括りました。「自由にはならないし、簡単にはいき ません。でも、力を合わせればできます。」

#### ダイヤモンドスポンサーによる 特別セッション

GFSIカンファレンスのダイヤモンド・スポンサーは、フードシステムの最も差し迫った課題に対する実行可能な解決策を共有する専門家パネル・ディスカッションを開催しました。2つのブロックで同時に開催された6つのセッションでは、フードシステムの回復力、気候変動が害虫リスクに与える影響、消費者の信頼を向上させるデジタル技術などのトピックが取り上げられました。









ホセ・エミリオ・エステバン 、農務省

2∄∄

## 米国農務省の食品安全ビジョン

「サルモネラ菌は、食品安全の専門家が直面する多くの新たな課題のひとつです。」と米国農務省食品安全局食品安全担当次官のホセ・エミリオ・エステバン博士は述べました。 米国では過去15年間、鶏肉のサルモネラ汚染率は75%低下しましたが、サルモネラ症患者数は横ばいです。米国農務省はこの矛盾に対処するため、最も病原性の高い血清型に注目し、これらの血清型を含む家禽を粗悪品として商業取引から排除することを要求する計画です。



ワンヘルス・アプローチの 成熟には、食のエコシステムにおけるあらゆる地点で の透明性とコミュニケーションが不可欠です。

主要なポイント

産業界と公共部門と の連携は、より機敏に なる必要があります。 このプロジェクトについてエステバン氏はこう述べました。 「アメリカだけでなく、世界にもフィットする最高の提案をするためには、あなた方のような人たちと実際に関わり、フィードバックをもらう必要があります。教えてくれないと、皆さんがどう動くのかわかりません。」

エステバン氏は、食品業界と規制当局の架け橋として、また官民連携のプラットフォームとしてのGFSIの役割を賞賛しました。彼は、GFSIが米国農務省とその関係者が前進するのを助けることができる方法を理解しています。「イノベーションが大きな役割を果たすでしょう。」と彼は言いました。「革新的であり、世界と共に歩まない限り、停滞し、時代遅れになります。」

話題のワンヘルス・アプローチは、人、動物、そして私たちの環境の最適な健康を達成するために、地域的、国家的、世界的に複数の専門分野が協力して取り組むことを求めています。エステバン氏はサルモネラワクチンをめぐる停滞を例に挙げ、「誰もがワンヘルスについて語るが、ワンヘルスを実践する人はいない。」と述べました。

ワンヘルスにおけるGFSIの役割について、彼はこう述べました。「GFSIの人々と協力することで、生産プロセスのすべての段階におけるリスク評価と分析への統合的なアプローチを提供する一連の提案を、ある時点で手に入れることができると思います。」

# GFSIとコーデックスが国連の持続可能な開発目標達成に貢献

コーデックスとGFSIのコラボレーションは、国連の持続可能な開発目標の達成に貢献できると、英国食品基準庁のグローバル・アフェアーズ・ディレクターであり、コーデックス委員会の議長であるスティーブ・ウェアン氏は述べました。GFSIが新たに発表した能力開発プログラムと認証データベースは、その活動における真の可能性を示しています。

コーデックスは、G2B (Government to Business) のような GFSIプロジェクトに参加することで、コーデックスとFAOの安全で持続可能な食品システムを支援し、急速に変化する世界における近代的な取引関係を促進する取り組みを強化することができます。ウェアン氏は次のように述べました:「私たちは世界的な組織であり、これは世界共通の取り組みです。」







コーデックス委員会は60周年を迎え、ウェブサイトを刷新し、バックナンバーをデジタル化し、関係者や消費者にコーデックスの利点をさらにアピールする機会を得ました、とウェアン委員長は述べました。コーデックスの加盟国は1963年の24カ国から、現在では188カ国に膨れ上がっています。また、GFSIは200のオブザーバー団体に名を連ねており、「GFSIは最も積極的なオブザーバーのひとつです。私たちが優先事項を特定し、私たちの規格の技術的な内容を開発し、チェックし、テストし、加盟国による規格の採用を提唱し、皆さんの業務で規格を活用するのを助けてくれます。」と付け加えました。

ウェアン氏は、利害関係者との共同作業の推進を喚起し、「コーデックスにおける最も重要な進展のいくつかは、コーデックスの中核的価値観のひとつである包括性をどのように実現したかに関連している」と締めくくりました。

主要なポイント

コーデックスとGFSIが協力し、国連の持続可能な開発目標を達成する機会。能力構築プログラムと認証データベースはその一翼を担うことができる。

**コーデックス**委員会**60**周 年: すべての利害関係者が 祝賀に協力できる

コーデックスは現在、188の加盟国、 1つの加盟組織、200以上のオブザーバー組織で構成されている。

## 分科会

## 能力構築

Race to the Top 1:監査員の能力と専門能力開発

「食品安全監査は専門的職業ではないが、本来そうあるべ きだ。」2日目のオープニングは、熟練した監査員の不足に 対する懸念の高まりに対応した内容でした。安全が最重要 視されるような他の専門職とは異なり、公認の専門能力開 発フレームワークがない状況を受け、Race to the Top (RTTT) フィーチャー1はこれを解決することを目指してい ます。GFSIは、優れた食品安全監査員になるために必要な スキル、知識、行動をまとめ、整理することで、食品安全監 査における能力構築を実現していきます。GFSIは、監査員 の能力に関する問題に取り組み、監査員の有効性を最大 化するために、ステークホルダーの参加を促します。監査 の成果は、有能で熟練した食品安全監査員にかかってい るため、これは重要です。食品安全監査員の採用、専門能 力開発・維持に問題があると、監査の成果に影響が出ます。 優れた監査員には、まず食品業界と監査プロセスの技術 的要素に関する知識が必要です。また、人間的スキルも必 要です。RTTTを微調整するために、GFSIはフィードバック に耳を傾け、必要に応じて反映し、軌道修正します。

GFSIグローバル・マーケット・プログラムの再始動

このセッションで、現行のグローバル・マーケット・プログラ ム(GMaP)の新しいアップデート版の開始が告げられまし た。その目的は、現在のツールキットを将来の能力構築の 青写真へ移行させ、その実行まで持っていくことです。ステ アリングコミッティとGFSIチームは、背景、更新されたツー ルキットの計画、将来のガバナンス要件について発表しま した。この刷新は、現在のGMaPが、GFSIが承認する認証 取得の途上にある人々をサポートする上で、期待された成 果が出ていないことを示した2020年のコンサルテーションを 受けて検討が行われました。今年後半に更新され、オンラ インで利用可能となるGMaPツールキットは、ベンチマーク 要求事項バージョン2020との整合がとられ、無許可の使用 を監視し、ブランディングポリシーを厳格に実施します。能 力構築フレームワークに統合されるツールキットは、小規 模で発展途上の食品事業者がGFSI承認規格の認証取得 に向けて努力することを支援する動きをさらに促進します。

#### **Burkholderia cocovenenans:**

強力な食中毒菌

オープニング基調講演の "ロックスター"ジュリアン・M・コックス博士が再登壇し、ほとんど知られていないものの、致死的な毒素であるボンクレキン酸を産生するため、摂取すると高確率で死に至る食中毒菌であるバークホルデリア・ココベネナンスの研究を共有しました。この毒素は、ジャワの発酵食品であるテンペ・ボンクレークにちなんで名付けられました。ボンクレキン酸中毒のほとんどのケースは、GFSIの食品安全能力構築の取り組みで命を救うことができるインドネシアやその他の発展途上地域で報告されています。



### 官民連携

GFSI、コーデックス、FAOがどのように協力し、食品システムの安全性をさらに確保しながら、現在および将来の食品安全リスクに対処するか

コーデックスを通じて、世界はひとつになります。GFSIとコ ーデックスが協力すれば、食品安全はより良く機能しま す。FAOとコーデックス委員会のリーダーからなるパネ ルのメンバーは、GFSIの認証に対する科学ベースのア プローチに価値を見出しています。なぜなら、国家食品 管理システム内のリスクベースのリソースを補強するか らです。GFSIと公共部門がベンチマーキング、能力構 築、官民連携のような分野で成果をあげてきたように、 対話は大きな役割を果たします。GFSIは3つのコーデッ クス委員会に出席し、フィードバックを提供し、ギャップを 特定し、ルールと現場での使用に関する技術的専門知 識を提供しています。GFSIコーデックス委員会は、自然 なパートナーシップも享受しています。コーデックス委員 会事務局は、コーデックスの文書がどのように使用され ているかを追跡するために、GFSIや規制当局のような 利害関係者からのフィードバックを求めています。コー デックスのアジェンダの中では、より持続可能性を求め る新たな動きが高まってきています。

#### 食品安全eコマース

新型コロナの大流行は、小売業者とレストランの双方にとって食品eコマースの導入を加速させました。それに遅れを取らないために、食品安全の専門家と政府規制当局は進化を遂げなければいけませんでした。実際、規制当局はeコマースにおける食品安全の推進に大きな役割を果たしています。その一例が、ドイツの革新的な電子商取引管理組織G@ZIELTです。G@ZIELTは、食品安全が小売レベルでの電子商取引戦略の領域に組み入れられること、および小売業者にとっての電子商取引の戦略的重要性を示しました。小売業者と消費者との接点が、実店舗以外の場所でより直接的なものになるにつれ、食品安全に対する要求も変化しています。

#### ドバイの食品安全規制におけるデジタル技術の 活用

未来はドバイにあります。当局がデータを活用して分析し、食品安全リスクに対処すべき場所を予測しています。ドバイ市食品安全局の食品安全規制に対するデジタル・アプローチは、160カ国と30万人の食品取扱業者からドバイ港に輸入される食品の管理に役立っています。Foodwatchと呼ばれるそのスマートな検査ダッシュボードは、AIやビッグデータ、ダッシュボード、モバイルアプリなどの新興テクノロジーを利用しています。イノベーションに富んだケーススタディとも言えるドバイの自治体は、データを活用して食品取引、食品検査、検査室検査、食品安全管理システムを結びつけ、意思決定により良い情報を提供する独自ソリューションを発見しました。政府、市民、事業者が協力することで、使いやすく、迅速で、パフォーマンスの高いデジタル・ソリューションが実現します。レストランの厨房のような場所に深く入り込むだけでなく、人々の安全と食事を守るために問題が表面化しそうな場所を予測します。









## ベンチマーキング・調和

卓越性への戦いのペースを加速:レジリエンスとアジリティのためのコカ・コーラシステムのアプローチ

コカ・コーラ社の主催で、世界で最も価値のある清涼飲料ブランドのグローバル・リーダーが、食品安全と品質に対する同社の適応的アプローチについて内部からの見解を述べました。同社は、予防的管理を活用し、トップダウンの文化を重視する「品質4.0」モデルに移行しました。このモデルは挑戦的で進化し続ける環境に対応するもので、バリュー・チェーン全体にわたって弾力性と俊敏性を維持するために食品安全に継続的に強く注力することを求めています。そこでは、信頼、透明性、ネットワークの連携が大きな役割を果たします。最も不安定な時代であっても、食品の安全な供

給は、不安定さとリスクを軽減する原動力であり続けます。 価値を創造し、業績を上げ更に進歩していくために、グロー バル企業全体の食品安全には、食品安全に対する卓越し たカルチャーへの投資が必要です。

RTTT フィーチャー4: GFSI認証プラットフォームの設計・開発

2020年にRTTTに着手した直後、GFSIはGFSIが承認したプログラムに対して証明書を保有しているすべてのサイトのデータベースをホストする認証プラットフォームを開発すると発表しました。本セッションでは、正確なデータの不足な

どの問題により進捗が遅れていることが報告されました。

パネルの方々は、このプロジェクトが実施され、食品安全のサプライチェーン保証に革命を起こす可能性に期待を表しました。RTTT フィーチャー4の一部であるこのプロジェクトは、GFSIが承認したプログラムに対して、誰が認証され、誰が認証されていないかについて透明性を提供します。GFSIは、すべてのGFSI承認サイトのデータベースをホストする、まったく新しい認証プラットフォームを開発しています。この情報へのアクセスは、関連するステークホルダーにとって急増する認証不正の問題に取り組むために不可欠であり、また、食品安全認証に関する情報をここだけで入手することが可能になります。新しいプログラムは、この種のデータを透明化し、アクセスしやすくすることで、食品安全の成果を向上させます。

#### アレルゲン・リスク評価

アレルギーのある消費者はリスクを反映したアレルゲン表示 を必要としていますが、食品事業者間で一貫した適用が行 われる場合にのみ、アレルギーのある消費者にとっての利 益が実現される、と最近のFAO/WHOの食品アレルゲンのリ スク評価に関する専門家協議の結果の一つは述べていま す。この分科会の出席者は、PAL(予防的アレルゲン表示) を含む最新の研究についてのプレゼンテーションを聞きまし た。PALについては、消費者にとってシンプルで明確であり、 虚偽や誤解を招くものであってはならないことが示されまし た。別の研究では、食品事業者が定性的リスク評価に参照 データを適用することへの期待が高まっていることに関し、 それはは特定の状況においてのみ適切かつ可能であること が共有されました。セッションでは、食品事業者向けの実践 的ガイダンスの概要についても説明がありました。参加者は また、アレルゲンの定量的リスクアセスメントを使用する利点 についても理解を深めました。適切かつ可能な場合、このツ ールは既存のアレルゲン管理実務を補完します。

## 基本を正しく: アフリカの食品安全物語

主要なポイント

食の安全と食の安全保障:アフ リカにおける大きな関心 アフリカ連合の食品安全戦略には、分析機関の能力と食品安全教育が必要です。

アフリカにおける食の安全や安心 を向上させるための戦略は、その 広大な多様性を考慮に入れなけれ ばならない。

GFSIが活動を拡大し続けている地域であるアフリカの食品 安全が、2日目の話題の中心となりました。

アネリッヒ・コンサルティングのルシア・アネリッヒ代表取締役は、「この大陸は、食の問題に直面しながらも、広大な多様性を持っています」と語りました。食品微生物学者であり、南アフリカで最も有名な食品安全の専門家の一人であるアネリッヒ氏は、次のように述べました。「アフリカの食品安全について語るとき、飢餓と切り離して考えることはできません。」

13億人の人口と35ヵ国(うち33ヵ国は世界の後発開発途上 国46ヵ国に属する)を抱えるアフリカは、食の安全が脅かされています。アフリカでは毎年約13万7000人が食中毒で死亡しており、食中毒による世界の死者の約3分の1を占めています。南アフリカとケニアで発生した集団感染では、貧困にあえぐ人々が、他に食べるものがないからという理由で、汚染されているとわかっている食品を食べ続けていることが明らかになりました。 この厄介な数字に対抗するため、アフリカ連合は2019年、大陸食品安全機関の設立に向けて動き始めました。同連合は、食品安全専門家パネルと諮問グループを招集し、その後、大陸全域に自由貿易圏を確立するという広範な計画の一翼を担う食品安全戦略を発表しました。この機関と自由貿易圏は、アフリカ経済に大きな恩恵をもたらす可能性があり、特に南アフリカやケニアのような農業生産性の高い国々が、より多くの製品をより広く販売できるようになります。しかしアフリカ大陸には、強固な食品安全規制システムを支えるために不可欠な検査能力がまだ不足しています。

彼女は最後にこう締めくくりました。「もし私たちが次のことを正しく理解しなければ、アフリカ連合のアジェンダ2063にある開発目標を達成することはできないでしょう。つまり、私たちが望むアフリカとは、統合され、繁栄し、平和なアフリカであり、自国の市民によって動かされ、国際舞台でダイナミックな力を発揮するアフリカなのです」。







## 停電のカオス アフリカにおける食品安 全の課題



主要なポイント

食品安全の専門家は、停電、コー ルドチェーンの断絶、輸送の不調に 直面する。

食品安全能力構築に賭けることで、 小規模プレーヤーが世界市場にア クセスし、収入を増やすことができ る。そして生活の質を向上させる。

農村部の人々にリーチする ため、携帯電話による食品 安全研修プログラムを実施。

アフリカで事業を展開する小売業者と多国籍企業は、予測 不可能でユニークな食品安全の課題に直面しています。南アフ リカでは、Pick n Pavのジェネラル・マネージャーでGFSIステ アリングコミッティの新メンバーであるシンディ・ジェンクス氏は、 2007年に始まった同国のエネルギー危機以来、定期的な 停電である「ロード・シャッディング」に適応しなければなら ない食品業界を観察しています。

停電にめげず、南アフリカは対処方法を見出しています。 地元企業のPick n Pay社は、発電機やその他の代替電源 を置き、1日最大11時間半の停電に対応していますが、長 時間の停電になると食料が無駄になります。ジェンクス氏 はこう指摘します。「アフリカ大陸で人々が飢えているのを 目の当たりにすれば、食べ物を無駄にしたくなくなります。」 長時間停電の影響は地元業者を直撃し、店の棚が空っぽ になります。

停電の一方で、新技術が一縷の望みをつないでいます。セ ンサー、データ分析、リアルタイムのモニタリングは、アフリ 力の食品安全の状況を改善することができます。モバイル アプリも有望です。モバイルアプリは、小規模生産者に食 品安全教育を提供する最良の方法であり、特に農村部で は、インターネットにログインするほとんどの人が携帯電話 から行っています。将来的には、モバイル・トレーニング・ツ ールは、農村部の生産者が能力構築プログラムにアクセス し、最終的にGFSI承認認証を取得し、Pick n Pavなどに供 給できるようにするのに役立つかもしれません。

「私たちは現地に赴き、さまざまな国のサプライヤーを教育 し、支援する必要があります」とジェンクス氏は締めくくりま した。「能力構築プログラムを通じて、サプライヤーがより多 くの国、より多くの地域に供給できるよう、門戸を開き、道を 開くことができます。」

## アフリカにおける能力構築: GFSIとUSAIDが協力

主要なポイント

USAIDとの協力USAIDとの協力は、 サプライチェーンの回復力と地元の 関与を支援します。 アフリカやその他の発展途上市場の中小企業を支援するGFSIの将来の能力構築の枠組み。

官民連携は、持続可能な開発目標の実現に貢献します。

官民連携は、持続可能な開発目標を達成するのに役立ちます。米国国際開発庁の民間セクター・エンゲージメント・セクレタリアト・リードであるキース・ドクホ氏のこのメッセージは、パートナーシップが世界中で飢餓と貧困と闘うことができることを意味しています。アフリカにおけるUSAIDのプロジェクトとGFSIとのパートナーシップは、この活動をサポートしています。

「アフリカ大陸は現在、世界的な食糧安全保障の危機の矢面に立たされています」とドクホは話し始め、COVID-19、燃料と肥料の価格高騰、気候変動、地域紛争を、前の2つのセッションで述べた課題に加えました。「しかし、パートナーシップと技術革新にコミットすることで、我々は大陸の潜在力を引き出すことができます。」





グローバル・フード・システムへの投資は有効です。USAID とGFSIカンファレンスに参加した企業とのパートナーシップは、その方法を示しています。コカ・コーラ社とともに、USAIDは水開発アライアンス(WADA)を主導し、2010年以来100万人に安全で持続可能な水を提供しています。包括的で栄養価の高い食品加工のためのアライアンス(AINFP)との活動は、ゼネラル・ミルズ社、カーギル社、DSM社、ビューラー社、ハーシー社、アーデントミルズ社、J.M.スマッカー社の従業員ボランティアを支援し、アフリカの中小企業と食品業界の慣行を共有しています。

相互利益のためにUSAIDの官民パートナーシップに参加することができ、また参加すべきだとドクホ氏は参加者に訴えました。「私たちUSAIDは企業のイノベーション、業界の専門知識、敏捷性を本当に活用することができ、企業はUSAIDの能力、人間関係、運営ノウハウ、招集力を活用することができます。」

セッションは、USAIDとGFSIの間で発表された新しい協力覚書で幕を閉じました。USAIDは、GFSIの将来の能力構築フレームワークが、世界中の、特にアフリカの、あまり洗練されていない食品事業者と共に、そしてそのために設計されることを確実にするために、GFSIをサポートします。「このパートナーシップは、あらゆる場所、すべての人のための安全な食品のために、GFSIの影響をより広範囲に拡大する素晴らしい機会です。」GFSIステアリングコミッティのメンバーであり、クローガー・カンパニーの副社長であるハワード・ポポーラは、発表の中でこう述べました。



#### テック・トーク

ネットワーキングの休憩時間や参加者の昼食時には、展示エリアの中心にあるプレゼンテーション・シアターが、食品安全技術の最先端に関する15分間のプレゼンテーション「Tech Talks」で活気づきました。カジュアルな雰囲気の中で、参加者とプレゼンター(技術やデータサイエンスの第一人者)との間のコミュニケーションが容易に行われました。トピックには、食品リスク予測、省エネ温度監視システム、ChatGPTのような大規模言語モデルの食品安全性向上への応用などが含まれました。







第3日

# GFSI 昨日、今日、そして明日:変革の旅

前GFSIステアリングコミッティ共同議長のロイ・カービー氏は、彼の同僚であり、新たに共同議長に任命されたクローガー社のハワード・ポポーラ氏と対談し、GFSIの歴史を振り返り、過去10年間にどのように進化してきたかを語りました。

GFSIのガバナンス小委員会の前委員長として、カービー氏は、CGFのすべての行動連合で起こっているより広範な変化を反映した、組織における最近の体制移行の実施に大きな役割を果たしました。これらの変化は、CGFを推進し、より高い透明性とより強固な倫理規範を要求する最高経営責任者達によって導かれました。「これらの人々から生まれた倫理と誠実さは、組織全体を通して徹底され、それがGFSIに連鎖しています。」

GFSIのガバナンスにおける最近の変化は、CGFのエコシステム全体で起こっているより広範なシフトを反映しています。

GFSIが能力構築のフレームワークを通じて発展 途上国でのプレゼンスを拡大するにつれ、ブラン ド保護の重要性が最も重要になるでしょう。

食品安全の専門家がこの分野を選ぶのは、消費者を守ることに関心があるからであり、あらゆる決断の中心にその優先順位を置いておかなければいけません。



この変化を通して浮かび上がった優先事項には、GFSIの監査に関する完全性への監督強化、ブランドの保護、ステークホルダー間のより透明性の高いコミュニケーションの促進などがあります。今後の展望として、カービー氏はGFSIとUSAIDの覚書を称賛し、アフリカと発展途上国全体でより大きなインパクトにつながることを期待しました。カービー氏はまた、GFSIが発展途上国市場で目に見えるようになるにつれ、そのブランドへの信頼を確実に維持するよう警告しました。「グローバル市場へのアクセスを可能にすることは、とても素晴らしいことですが、ただ通り抜けられるオープンなドアではありません」と警告しました。

彼は最後に、GFSIと参加者への呼びかけで締めくくりました。「すべての議題を忘れ、キャリアを忘れ、残りのすべてを忘れてください。消費者を守ることを自分の存在理由にしてください。私たちはただ、毎日、あらゆる決断において、それを思考の中心に置くようにしなければならないのです。」

ステアリングコミッティメンバーであり、新しく共同議長に任命されたジェネラル・ミルズのマーク・フライリング氏は、2人の話し合いの後、ロイ氏にGFSIへの貢献を称える盾を贈呈しました。







## 分科会

## 能力構築

食品安全能力構築におけるビジネス支援:360°ビュー

USAIDのケリー・コルミエ氏は、GFSIのリーダーたちとのセッションに参加し、GFSIの将来の能力構築フレームワークがどのようなものか、またアフリカや他の地域の発展途上市場で持続可能な開発をどのように推進できるかを議論しました。このセッションは、2023年会議のハイライトである新しいフレームワークに関して、GFSIとUSAIDの間で覚書が交わされた後に開催されました。このニュースは、GFSIステアリングコミッティが過去1年間、GFSIのための新しい能力構築の青写真を設計するために取り組んできた中で、パブリックコンサルテーションの過程で提起された6つのテーマに対処するために発表されました。青写真はまた、より良い成果を達成し、より包括的なアプローチをとるための能力構築に関する新しいGFSIビジョンの実現を可能にします。

人、プロセス、技術:食品安全における革新

食品安全における最新のブレークスルーは、人、プロ セス、技術の能力構築を後押しすることができます。こ の分科会では、関係者は、新しいデジタルツールが、 認証への新たな道筋を通じて、バリューチェーンを通 した企業の食品安全向上を支援する未来を展望しま した。ドローン技術は、食品安全レベルの向上と、さま ざまな業界にわたる食品安全の能力構築において、 ますます大きな役割を果たすでしょう。さまざまな業界 にわたって食品安全の能力を高める方法を開発する ことは容易なことではありませんが、最新のトレンドと 技術は有望であり、サプライ・チェーンに沿って食品を 安全に保つのに役立つと思われます。技術の導入は 発表されたばかりのGFSIとUSAIDのパートナーシップ の一部を形成し、そこではアフリカの中小規模の食品 企業が技術的リソースに接続することで、食品安全管 理システムを改善できるよう支援することができます。







## 官民連携

#### 国際食品安全のための遠隔監査:効率性と有効性

このセッションの出席者は、経済協力開発機構(OECD)による最近の報告書をもとに、遠隔監査が国際的な食品安全に対処する上で効率的かつ効果的かどうかを探りました。この報告書では、各国が最も有用と考えるプラクティスが明らかにされ、今後の継続的あるいは広範な採用についての見解が示されました。この報告書は、ケーススタディー・アプローチと調査によって補完され、遠隔監査・検査のコストと便益、全体的な効率と有効性、各国が最も有用であると判断した慣行、そして今後の継続的あるいは広範な採用に対する見解を評価することを目的としています。

## ベンチマーキング・調和

RTTT 2: GFSI要求事項へのCPOの継続的な整合性へのGFSIの監督-独立したレビュー

食品安全の分野で物事がうまくいかないとき、人々はその結果に苦しみます。GFSI が承認した認証プログラムの有効性と完全性を監督する上で果たす重要な役割について独立した評価を提供することを目的として、GFSIはPwCの戦略コンサルタントに、ベンチマーキング・プロセスそのものや、認証プログラム・オーナーとベンチマーキング要求事項との継続的な整合性を含む、プロセスのあらゆる側面の見直しを依頼しました。彼らの最初の発見は、更なる改善の余地があり、継続的な改善の好循環を生み出す多くの機会がある、というものでした。レビューの結果は、GFSI自身の継続的改善のプロセスに寄与するものとしても重要です。

#### 技術的同等性

技術的同等性(Technical Equivalence)は、公的な認証規格の内容に対して、GFSIベンチマーク要求事項の関連スコープに対する同等性を認めるGFSIベンチマーキングプロセスの一つです。2021年の技術的同等性の戦略的レビューの結果を受け、GFSIは公的プログラムを完全に承認する新しいアプローチを提案しています。現在認められている公的基準に関するセッション・パネルでは、新しいアプローチのアイデアと展望について議論されました。パネルではまた、レビューから生じる課題と機会、そして規制当局がGFSIとのコラボレーションを重視する理由を探りました。





## フードシステムの共通 言語



食品業界のコンセプトを伝える新しい方法は、いずれ言語を超えるかもしれない。

ダグラス・ゲイトン氏は、食品安全のための教育の力、すなわち生産者がいかにして食品安全のストーリーを共有するかを強調しました。彼はこう指摘しました。「もしあなたが、それを聴衆や一般大衆に効果的に伝える方法を見つけることができれば、あなたはコンセンサスを形成する仕組みを作り上げたことになります。」

そのような仕組みを探していた彼は、グーグル社のフード・アット・グーグルの支援を受けて、レキシコンのアクセラレーターが開発したイニシアティブ「Foodicons」を立ち上げました。FAOもこのプロジェクトに参加し、今年10月にローマで開催される世界食糧フォーラムに出展する予定です。

認証ラベルは有用ですが、認証 の構成要素を一般大衆が理解で きるように伝えられるとは限りま せん。 共有言語は、部門内および消費者との間で目標を設定し、伝達する役割を担います。

ケージフリーやrBSTといったフードシステム用語に対する消費 者の意識は、セクター全体に影響を与える可能性があります。

要点





Foodiconsは、アドビのアイコンチームが国際的なアーティストやフードシステムの専門家の意見を取り入れてデザインしたビジュアル言語です。オープンソースで機械可読のアイコンは、言葉に頼ることなく、フードシステムのコンセプトを伝えます。Foodiconsに参加することで、「セクター内部で足並みを揃え、それを外部に反映させることで、消費者がそのセクターが何を目指しているのかを理解することができます。」とダグラスは述べました。

Foodiconsへの道のりは、ダグラスが作家・映画監督として食育に携わり、アメリカの公共テレビ局PBSで「Know Your Food」シリーズなど受賞歴のあるドキュメンタリー番組を制作したことから始まりました。農家や食品生産者との交流、そして妻とヤギ乳アイスクリームの会社を立ち上げた経験を通じて、彼は食品業界には共有言語が欠けていることに気づきました。生産者は認証を取得し、ラベルに表示することはできても、安全性と持続可能性をどのように実践しているかを伝える明確な方法がないのです。

彼は最後に、参加者への質問で締めくくりました。「あなたの伝えたいことは何ですか?そして、どうすればそれを機械が読める方法で伝えることができ、相手に最も響かせることができますか?」そして彼はこう付け加えました。「それこそが、あなたが抱く目標、あるいは願望なのです。私たち全員が直面している不透明さを取り除き、人々が自分の価値観に沿った買い物をし、見たい世界を見ることができるような、より透明性の高いものに置き換えることなのです。」



# 閉会の挨拶:食品安全ストーリーを語る



ストーリーには、人々を教育し、共通の目的のもとに 団結させる力がある。

GFSIの能力構築活動は、企業がより小さく、より発展していない市場で代替サプライヤーを探すことを容易にすることで、世界の食糧供給を確保するのに役立ちます。GFSIディレクタのエリカ・シェワード氏は閉会の挨拶で、「ストーリーを語る力は、教育し成長させるという共通の目的のもとに人々をひとつにします」と語りました。

ダグラス・ゲイトン氏の基調講演を会議の幅広いトピックに結びつけ、彼女は参加者に会議のメッセージをチームに持ち帰るよう求めました。「GFSIがその目的、そしてすべて人に安全な食品を提供するという皆の使命を果たすために、断固とした行動を取ることがかつてないほど重要になっています。私たちの行手を阻むものが出てこないように、皆さんの全員の継続的な支援が必要です。」

最後に、Pick n Payの最高経営責任者であるピーター・ブーン氏が、GFSIのアジェンダ、特に能力開発におけるアフリカの中心性を強調しました。彼は、南アフリカのケープタウンにある旗艦店でのビデオ演説を通じて、サプライチェーン・ショックに対する同社の対応の概要を説明しました。

「世界中の小売業者は、代替の業者やチャネル、多くの場合、地元市場の小規模農家から、人間の消費に安全なコスト効率の良い食品供給を確保する必要があります。GFSIが小規模食品事業者の食品安全能力を高めるために行っている活動は、許容される食品安全基準を遵守した食品をローカル市場で確保する上で非常に重要です。」

次回のGFSI会議がシンガポールで開催される2024年 も、食品安全の物語は続きます。そこでお会いできる ことを楽しみにしています!

#### パートナー



公式晩餐会のスポンサーであるコカ・コーラ社に感謝する。

ダイヤモンドスポンサー













会議スポンサー















#### プレミアム出展者









#### 出展者







































## ソーシャル・モーメント(SNS)







+ Follow \*\*





Had an absolute time at #gfsi23 in Atlanta. Thank you The Coca-Cola Company for a sonderful evening at your HQ. Melody Ge. Victoria Alee and Tai Mara - It is always a phologe to spend time with passionate, innovative women who are changing the game in Food Safety! Paul Damaren thank you for 25 days pocked with great convenations with people in food safety from around the world.





Just hinished an incredible global food safety conference and I'm more excited than ever about the future of our industry.

+ Follow \*\*\*

One of my biggest takeaways was that food safety has to be everyone's business if we want safe food everywhere.

It was inspiring to see CEOs, industry grants and government agencies coming together to tackle this challenge.

Let's continue to work together to ensure that food safety remains a top priority for

#gfsi23 #foodsafety #globalconference #networking #collaboration **#foodsecurity #topprionly** 



## フォトギャラリー





















アトランタで開催された **2023**年**GFSI**会議のハイラ イトビデオを見る



## 組織概要

コンシューマー・グッズ・フォーラムについて

コンシューマー・グッズ・フォーラム(CGF)は、世界中のコンシューマー・グッズ業界に貢献するプラクティスとスタンダードのグローバルな採用を促進するために、メンバーによって運営されているパリティベースのグローバルな業界ネットワークです。消費財小売業者、製造業者、およびそのサービス・プロバイダーがグローバルに一堂に会する組織として独自の地位を確立している当フォーラムは、人と地球の双方に利益をもたらす業界全体の前向きな変化を推進し、会員が長期的かつ持続可能な事業成長を確保できるよう支援する専門的な立場にあります。

www.theconsumergoodsforum.com

#### GFSIについて

グローバル食品安全イニシアチブ(GFSI)は、CGFのCEO主導の行動連合であり、44の小売業者と製造業者、そして拡大する食品安全コミュニティを結集し、企業の食品安全基準を監督し、あらゆる人々に安全な食品へのアクセスを提供することを支援しています。安全な食品の実現を支援する世界最大級のネットワークとして、GFSIは食品安全をみんなのビジネスにすることにコミットしており、連合メンバーは、サプライチェーンと彼らが活動する市場において、食品安全システムが直面する課題に取り組み、世界的に食品安全の水準を高めることに貢献しています。GFSIの野心は、食品安全システムを強化し調和させることで、増加する世界人口を養い、消費者が世界のどこにいても安全に食品を提供できる市場を発展させることです。

www.mygfsi.com

#### クレジット

写真 アラン・パルディネス、アレクサンダー・ロメロ、オスカー・ロドリゲス コピーライティング ジェームズ・ピーパー、ジェニファー・ファーゲセン エディター エドナ・アイメ・ヤヒル デザイン カナナ・スタジオ

発行2023年7月

## GFSIの成 功を振り返 る 会議…



## ...エコラボの焦点は未来にあります、

そして、お客様、地域社会、地球にとって100%プラスとなる結果をお届け します。大切なものを守る

**エコラボの**原動力は、科学に基づく革新、比類のないサービス、そして 人々と生命に不可欠な資源を守るための永続的なコミットメントを絶え間 なく追求することにあります。

私たちは、このコミットメントにおいて皆さんと協力できることを楽しみにしています。

エコラボはGFSIの誇り高きパートナーです



PROTECTING WHAT'S VITAL





## GS1規格とサービスが安全な食品をサポート

サプライチェーン全体にわたって、製品や場所に関する情報を一意に 識別し、正確に把握し、自動的に共有することによって。

透明性 可視性 回復力 持続可能性

- •リコールの効率的な管理
- •エンド・ツー・エンドのトレーサビリティの実現
- 不審品の検出
- 廃棄物の削減
- 消費者と製品情報を共有する



さらに詳しく

## Rentokil



## PRESERVING OUR PLANET.

広範なネットワーク、ローカルおよびグローバルな専門知識、市場をリードする、 持続可能なイノベーションにより、食品安全基準を向上させる画期的なソリューションとアドバイ スを提供することで、お客様から信頼を得ています。

レントキルは世界有数の商業害虫駆除会社として、世界中の食品企業が害虫のリスクを積極的に軽減できるよう支援しています。

rentokil.comをご覧ください。



私たちは、世界中の消費者に安全な食品を提供するという共通の目標を目指し、共に働けることを楽しみにしています。農場から食卓まで、NSFは皆様の食品安全の旅をグローバルにサポートし、人類と地球の健康を向上させます。



#### もつと知りたい?

クリックまたはQRをスキャンしてホワイトペーパーをダウンロードしてください:

リスクへのアプローチを変えることで、安全で持続可能な食をどのように実現できるか?

